# 社会資本整備審議会道路分科会　平成 24 年度第 1 回中国地方小委員会
# 《議事要旨・議事録》

## １．日　時

平成 24 年 9 月 20 日（木）13:30～15:30

## ２．場　所

中国地方整備局建政部　3 階　第 1, 第 2 会議室

## ３．出席者

＜委員＞

| | | |
|---|---|---|
| ◎ | 藤原（ふじわら）　章正（あきまさ） | 広島大学大学院　国際協力研究科　教授 |
| | 鎌倉（かまくら）　秀章（ひであき） | 中国経済連合会　専務理事 |
| | 小嶋（こじま）　光信（みつのぶ） | 両備グループ代表 |
| | 澤（さわ）　喜司郎（きしろう） | 山口大学　経済学部　国際経済学科　教授 |
| | 八田（はった）　典子（のりこ） | 島根県立大学　総合政策学部　教授 |

※敬称略　◎は委員長

## ４．議　題

(1) 道路に関する最近の動向について（情報提供）

(2) 計画段階評価に向けた検討

山陰自動車道（福光～江津）

・地域・道路の状況、課題整理と政策目標の設定等

## ５．議事概要

〈審議結果〉

○山陰自動車道（福光～江津）の計画段階評価に向けた検討について

・地域や道路交通の状況と課題

・政策目標の設定

・計画段階評価に係る手続きの進め方

などについて事務局より説明後、審議を行い、意見を頂いた。

〈委員からの主な意見〉

地域・道路の課題と政策目標について

・政策目標の一つ「災害時にも機能するネットワークの確保」は、道路そのものがないと機能しない致命的な課題であり、この地域にとって非常に重要で、かつ高い政策目標である。
・この地域の住民は常に災害や通行止めの潜在的不安を抱えて生活している現状にあるので、出来るだけ早く整備が必要。
・住民がこの地域で暮らしていくうえで、文化的楽しみを享受するといった面においても地域格差を実感する地域であり、「住民生活の質の向上」の観点も踏まえた交流条件の確保も求められる。
・安全については、大型車などの通過交通と地域の生活交通が混在している現状を踏まえて検討することが重要である。
・政策目標を設定するにあたっては、人口減少や高齢化が進む地域において将来どの様な社会・経済活動を営んでいくのかといった点も視野に入れ、ネットワークが生み出す波及的効果も考慮しまとめると良い。

計画段階評価に係る手続きの進め方、意見聴取の方法・内容について

・比較ルート（複数案）の検討、絞り込みにあたっては、地域の特性を踏まえ、求められる機能を明確にしたうえで、ルート案を選択する際の評価項目や基準を適切に設定しておくことが重要である。
・地域を跨ぐような足の長い通過交通と、この地域内に発着する地域交通が混在している区間であり、利用層を勘案したバランスの取れた意見聴取を実施すること。
・住民生活における不安の解消とともに、中国地方の経済活動や観光・交流においてもできるだけ早期の整備が必要であり、今後の手続きもスピード感を持って進めて欲しい。

総　括

・地域・道路の課題整理と政策目標、意見聴取の方法・内容については、微修正はあるが、概ね妥当と判断される。
・上記の意見を踏まえ内容を検討し、地域の意見聴取など手続きを進めることを確認。

以上